

第11回（平成18年度第5回）  
かごしままちづくり会議会次第

○日時：平成19年2月26日（月）14時30分～

○場所：鹿児島市民福祉プラザ5階中会議室

1 開 会

2 報 告

- (1) 第10回（平成18年度第4回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について
- (2) 第10回（平成18年度第4回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況について（全市的な事項）
- (3) 第11回（平成18年度第5回）地域まちづくり会議等について

3 協 議（テーマ協議）

テーマ：コミュニティ

4 本年度の意見集約について

5 平成19年度の協議テーマについて

6 その他

7 閉 会

# 第11回(平成18年度第5回)かごしままちづくり会議資料

ページ

1. 第10回(平成18年度第4回)かごしままちづくり会議における意見等の検討状況 1～5
2. 第10回(平成18年度第4回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況  
(全市的な事項) 6～12
3. 平成18年度第5回地域まちづくり会議概要 13～18

第10回（平成18年度第4回）  
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、  
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	近年の生涯学習においては、福祉教育の部分が重視され確立され始めているが、昨今の人間関係の希薄化を鑑み、地域住民との助け合いを重視した福祉教育にもっと力を入れていくべきではないか。	2	教育委員会	教育委員会では、生涯学習プラザや地域公民館において、手話や障害者とのふれあいなどに関する講座を開設している。また、健康福祉局では、市民の要望に応じた出前講座の開設や福祉ボランティアの育成、福祉資料の配付等を行っている。今後、関係部局と連携をさらに図りながら、福祉教育を推進してまいりたい。	1
2	桜島地域や山間部など、かなりの勾配を伴う地域に居住する高齢者に配慮して、虚弱高齢者が社会参加しやすい環境にし、日常生活の自立を支援する観点から、購入費が高額な電動車椅子に対する補助制度について検討してほしい。	2	健康福祉局	電動車いすは介護保険制度のなかで貸与制度があり、要介護認定を受けるなど一定の要件の下で利用することができることから、購入に対し特に助成等は行っていないところであるのでご理解いただきたい。	3
3	校区公民館などにあいご会や町内会、警察、福祉関係等も全て含めたたよりセンターの機能性を高めてほしい。教育・福祉両面においての利便性を高めてほしい。	2	教育委員会	校区公民館運営審議会は、町内会やあいご会、PTA、婦人会等の関係機関・団体への支援と連絡調整を図り、青少年の健全育成やそれに伴う地域課題を解決する事を目的として活動している。そのため、校区によっては警察や福祉機関とも連携を図りながら地域課題の解決を図っている校区もある。今後はそのような校区の活動例を他の校区にも紹介し、現在の校区公民館運営審議会がより有効的に機能できるように支援してまいりたい。	2

第100回（平成18年度第4回）  
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、  
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
4	みんなのでまちを美しくする条例で定められた路上禁煙地区の範囲を全市的に広げるなどして、更なる禁煙強化を検討してほしい。	2	環境局	路上禁煙地区は、たばこの吸い殻の投棄防止を重点的に推進する必要がある場所を指定しているもので、禁煙の促進を目的とするものではないが、路上禁煙地区指定拡大に際しては、その必要性を踏まえ、関係通り会等と協議しながら進めることとしている。 ※新市まちづくり計画 3 快適環境都市／(8) 環境衛生／41 ページ	2
		2	健康福祉局	多数の者が利用する施設の管理者は、受動喫煙(室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わせること。)を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない(健康増進法第25条)という規定に基づき、市民の健康づくりを推進するために、関係団体と連携を図りながら、受動喫煙による健康への悪影響を防ぐための分煙化推進の情報提供に取り組んでいる。 今後、受動喫煙を防止する取組が図られるよう情報提供に努めてまいりたい。	2

第10回（平成18年度第4回）  
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、  
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
5	中央駅以外の駅へエレベーターを設置するなどして、車椅子の方などが利用しやすいような施策を工夫して行ってほしい。	2	企画部	ご意見につきましては、駅を管理している九州旅客鉄道株式会社に伝えて参りたい。	4
6	福祉に対する意識や郷土への愛着心を急に身に付ける事は難しいので、小学生の頃から教育内容に盛り込むなどして、鹿児島らしい教育というものを行う必要がある。	2	教育委員会	各小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間等で、高齢者施設の訪問や障害者との交流、地域の伝統芸能の継承、郷土の史跡・偉人についての体験学習や調査活動などが行われている。また、本市では、小学校3、4年生の社会科で使用するための副読本「のびゆく鹿児島」を作成・配付し、郷土についての学習や郷土を生かした教育活動の充実を図っている。今後、学校や地域の実情に応じた福祉や郷土に関する教育の充実が図られるよう努めてまいりたい。	1

第10回（平成18年度第4回）  
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他  
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、  
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
7	児童・生徒数の減少に伴い活用されていない土地等については、その学校の周辺にまわって活用する何らかの遺産・偉人に関する資料を公開するなどして活用すれば、生涯学習にもつながり、学校は子供だけのものではなく大人も学べる場であるという意識が高まるのではないか。	2	教育委員会	児童生徒数の減少に伴う余裕教室については、「鹿児島市立学校余裕教室活用計画指針」により、少人数指導や更衣室などに転用するなど教育活動充実のために活用している。また、PTA活動室や郷土文化・交流活動室などとして、生涯学習施設や社会福祉施設としても活用できるようにしている学校もある。今後、学校や関係機関との連携を図りながら有効活用に努めてまいりたい。	1
8	児童数が減り廃校の可能性もある小規模校が山間僻地などに増えてきているが、小学校は地域コミュニティの中心となるものであるもので、小規模校を維持させるための対策を検討してほしい。	2	教育委員会	児童数が減少する地域及び学校から、市小規模校入学特別認可制度を活用したいとの要望があり、教育委員会が本事業実施校として指定すれば、市街地の学校から通学を希望する児童を受け入れて活性化を図ることができるとしている。	1

第10回(平成18年度第4回)  
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他  
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、  
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
9	旧5町で合併後も継続して年1回開催されている地域運動会については、健康づくりだけでなく、地域の活力を維持する面での意義も大きいことから、現在市が出している開催負担金については、将来にわたって継続してほしい。	1	教育委員会	旧5町時代から実施しているイベントであり、地域住民の親睦を深めるとともに、地域の活性化に大いに寄与することから、行政としてもできる範囲で支援してまいりたい。 ※合併協定項目 (47)社会教育事業/4各種スポーツ大会 ①地域に根ざし、町民に定着している運動会については、それぞれ地域運動会として現行どおり実施する。 ②県内外から参加者を募集する次の大会については、新市の大会として実施する。 ・南日本小学生バレーボール大会 ・西日本中学校選抜オープン卓球大会 など7大会 ③その他の大会は平成17年度から廃止する。 ※新市まちづくり計画 1安心健康都市/(13)スポーツ・レクリエーション/28ページ	2
10	合併後のスムーズな一体化のためにまちづくり会議があるが、今後は新生鹿児島市全体を視野に入れ、自分たちのままのあり方を皆で考えあう機会として、旧鹿児島市内にも支所単位、地域公民館レベル単位等での組織の設置を検討してほしい。	2	市民局	市民が新しい鹿児島市づくりへの熱い思いを発揮できるように、旧鹿児島市を含めた全市域を対象とした「地域まちづくりワークショップ」を各地域に設置する予定にしている。 このワークショップは、会の運営及び地域課題解決のための地域プラン策定等、地域の住民が主体となつて行うものである。 なお、地区割等事業の詳細については、他都市の状況なども調査しながら、19年度中に検討したいと考えている。	2

# 第10回（平成18年度第4回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感を含む）  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

会議名	番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
吉田	1	狂犬病予防法には罰則があるのか。未登録を含め、予防注射を受けていない頭数がかなりあると思うので、実態調査をして漏れのないようにしていただきたい。	2	健康福祉局	狂犬病予防法で、犬の所有者は、犬の登録と毎年一回の狂犬病予防注射を受けることが定められており、行わなかった者は法に基づき罰則が定められている。 保健所では、犬の登録や狂犬病予防注射について、飼い主への周知、啓発として、 ・市民のひろば等の広報紙への掲載 ・ホームページへの掲載 ・定期予防注射（集合注射）の案内通知等を行うとともに、 ・市内の公園や公民館等で行う集合注射会場（4月～6月） ・市獣医師会会員の動物病院（通年） 等で、登録や狂犬病予防注射を実施している。 また、苦情や相談等の際、犬の登録や狂犬病予防注射の未実施が判明した場合には、飼い主等へ直接指導を行うとともに、葉書による催告を行っている。 今後、あらゆる機会を捉えて、犬の登録と狂犬病予防注射の実施の周知、啓発に努めてまいりたい。	1
吉田	2	町内会未加入者が増えているため、地元の住民も家の新築工事をするときに町内会加入をよびかけるなどの受け入れ態勢を必要があるが、行政側も「こういう人が転入しました」と町内会長に連絡してほしい。	2	市民局	住民異動に関する情報管理については、法令等に基づき適正かつ厳格に行っており、情報を提供するのには難しいのでご理解いただきたい。	3

# 第10回(平成18年度第4回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他(質問、所感等を含む)  
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

会議名	番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
桜島	3	地域福祉施策の中で、民生委員や児童委員の活動に対する支援が掲げられているが、各地域公民館長(町内会長)のほか、各種団体が一緒に協力して取り組める体制を整備してほしい。	2	健康福祉局	市内には、地域で福祉を推進する組織として校区社会福祉協議会があり、様々な福祉の課題の解決に向けて話し合い、活動されている。校区社会福祉協議会は、町内会やあいご会、婦人会、地区民生委員児童協議会、ポランテアグループ、学校、福祉施設、老人クラブなどで構成されている。 校区社会福祉協議会が中心となって、地域の様々な団体や個人と連携して行う小地域ネットワークの活動(見守り活動や子育てサロン、世代間の交流会など)を、本市は地域福祉ネットワーク構築により支援することとし、平成18年度から6地域福祉館においてモデル事業を開始した。 地域福祉ネットワーク構築による支援内容は、市社会福祉協議会に委託して配置した地域福祉支援員が、小地域ネットワーク活動に対して助言や情報提供、人材発掘の手伝い、団体間の橋渡しなどを行うほか、地域のポランテア活動の情報収集・提供や福祉情報提供・相談を行うことである。 今後、モデル事業における問題点の分析や検証を十分に行ったうえで、全市的に地域福祉館(地域福祉館のない地域では市社会福祉協議会支部や類似施設の活用を図る)において取り組みを進めることとしている。	1
喜入	4	来年から団塊の世代が退職を迎えることとなるが、地方で農業をしたい方々もいると思われ、行政が団塊の世代に向けて休耕地の活用をPRする施策を検討してもいいのではないかと。	2	経済局	新たに就農を希望される方へは、新規就農相談や就農準備講座等の研修を実施している。 また、団塊の世代に向けた遊休農地の活用のPRIについては、今後、調査検討してまいりたい。	2
喜入	5	農業体験の指導者を含めグリーン・ツーリズムの担い手となる人や組織について、行政が支援・育成していくことも必要である。特に、人と人の連携を図ることのきつて地域住民に勉強会を開くことも必要である。	2	経済局	地域リーダーについては、研修会や先進地研修を開催しているところである。 今後は、グリーン・ツーリズムを指導できる人材の育成など、支援の方法について検討してまいりたい。	1

第10回（平成18年度第4回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感を含む）  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

会議名	番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
喜入	6	喜入地域では合併後に農地の解約件数が増加している。遊休農地の活用を図るためにも補助制度の拡充を行ってほしい。また、農地を借りるのに個人で交渉しても難しいので行政が仲介に入るなど支援がほしい。	2	経済局	遊休農地の解消については、農地流動化対策事業により取り組んでいる。農地の貸借については、農業委員会で斡旋、仲介を行っており、農業委員会と十分連携してまいりたい。	1
喜入	7	安心・安全な農産物の生産を促進するため、有機栽培などに於いて農協や市が重点的に農家を指導していただきたい。	2	経済局	安心・安全な農産物生産を促進するため、紫外線カットフィルムや防虫ネット等の防除資材の導入を推進する環境保全型農業推進事業に取り組み、減農薬栽培を推進しているところである。また、現地指導については、市や普及センター、農協など関係機関と連携を図りながら取り組んでいるところである。 ※新市まちづくり計画 5に「ざわいと活力あふれるまち」(4)農林水産業／54ページ	1
喜入	8	農業関係の補助事業のあり方について、降灰対策事業など補助事業の対象者は個人ではなくグループとなっていくことが、喜入地域内ではグループを組むことが困難であることから見直しをしていただきたい。	2	経済局	国・県の補助事業の導入に際しては、それぞれの補助金交付規則、要綱等に基づき実施しているところであり、市単独の補助事業においても、市補助金等交付規則、交付要綱に則り実施している。補助事業については、その周辺地域も含めて、地域の農家の経営安定と活性化を図るものであり、グループでの事業導入を推進しているところである。	3
松元	9	コミュニティバスについては、市街地まで接続したり、毎日運行するなど、利用者の立場に立った柔軟な対応をしていただきたい。	2	企画部	コミュニティバスの運行については、本年度行うアンケート調査の結果を踏まえた運行サービス等の見直しを検討することとしている。 ご意見については、参考にさせていただきます。	2

# 第10回（平成18年度第4回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

会議名	番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
松元	10	福祉バスについては、事前の利用手続きを簡素化するなどとして、広く地域住民が活用できるような制度にしたい。	2	健康福祉局	高齢者福祉バスの利用申込については、18年4月からこれまででの抽選会による方法から、はがきによる申し込みに変更するなど手続きを一部簡素化したところである。なお、高齢者福祉バスは高齢者の教養の向上や健康増進の事業のため、老人クラブなど高齢者の団体に利用していただいているところであり、この目的以外の利用については現在のところ考えていないのでご理解いただきたい。	3
					※合併協定項目 (27) 高齢者福祉事業/1 高齢者福祉バス運行事業 当分の間現行どおりとする。 喜入町の老人福祉バスの定時運行については、合併後早い時期に調整する。	
		子どもの安全対策という面では、これまで主に登下校中の見守りや、側面からの侵入防止などの対策が中心であったが、子ども自身も安全意識を高め、危険を回避するよう努める必要がある。また、地域の大人が子どもを見守るだけでなく、様々な危険箇所があることを認識させ、防犯パトロール隊の結成促進や活動を支援している。また、小学校や児童クラブなど地域の要望に応じて専門の指導員を派遣し、防犯等の知識を高めるための安心安全研修会を開催している。今後とも、こうした事業を行うとともに、地域に結成された防犯パトロール隊などと連携して、安心安全なまちづくりを推進してまいりたい。	2	市民局	子どもの登下校中の見守りなど、地域での安全確保に係る自主的な活動を支援するため、パトロール用品を支給して、防犯パトロール隊の結成促進や活動を支援している。また、小学校や児童クラブなど地域の要望に応じて専門の指導員を派遣し、防犯等の知識を高めるための安心安全研修会を開催している。今後とも、こうした事業を行うとともに、地域に結成された防犯パトロール隊などと連携して、安心安全なまちづくりを推進してまいりたい。	1
郡山	11	安全対策という面では、これまで主に登下校中の見守りや、側面からの侵入防止などの対策が中心であったが、子ども自身も安全意識を高め、危険を回避するよう努める必要がある。また、地域の大人が子どもを見守るだけでなく、様々な危険箇所があることを認識させ、防犯パトロール隊の結成促進や活動を支援している。また、小学校や児童クラブなど地域の要望に応じて専門の指導員を派遣し、防犯等の知識を高めるための安心安全研修会を開催している。今後とも、こうした事業を行うとともに、地域に結成された防犯パトロール隊などと連携して、安心安全なまちづくりを推進してまいりたい。	2	教育委員会	学校では関係団体と連携を深め、毎年校区環境点検マップ等の見直しと活用を進めている。特に、子どもや保護者、地域住民から情報を収集し、子どもの目線に立ったマップづくりや子ども発達の段階に応じた具体的な指導を進めているところである。今後とも、子どもの危険予知能力や危険回避能力を高めるよう危険予知トレーニング(KYT)等の実施に努めてまいりたい。	1

# 第10回(平成18年度第4回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他(質問、所感等を含む)  
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

会議名	番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
郡山	12	不審者、防犯灯、道路の危険箇所など通学路の課題、問題点について無記名アンケートを全市域の小・中学生からとってみたらどうか。	2	教育委員会	学校、PTA、町内会等において子どもたちが自ら気づき適切に対処する能力を高めるために、アンケートや実地踏査等は現在も校区によっては実施されている。今後、それぞれ校区で実態に応じてアンケートの活用やフィードバックの実施等がなされるよう対応してまいりたい。	1
郡山	13	地域の小学校の子供達に防犯ブザーを持たせているのか。安全対策としては非常に効果的と考えるが、行政として持たせていこうというような考えはないか。	2	教育委員会	合併前に教育委員会や単位PTAで配布した学校もあるが、ほとんどの学校においては個人購入で対応している。現在のところ、市として全体への配布は考えていない。	3
郡山	14	高齢者等の見守り活動は、現代の社会情勢からみて奉仕活動だけでは、難しい面があるのではないかと思われるので、一定の対価もあるような形でのNPO的な手法も必要なのではないか。そういう方向に誘導できないものか。	2	健康福祉局	高齢者の見守り活動はボランティアをグループ化したとしてもグループが行っているが、旧5町地域では喜入地区を除いて加入が進んでいないので、加入の促進を図りながら現行制度の中で取り組んでまいりたい。	3
郡山	15	おはら祭の際に郷土芸能を披露する場を提供していただき、広くPRできたことは非常にありがたいことだと思っている。地域としても自分たちの問題として後継者不足に悩み、性別の枠を外したり、自分たちの地域だけでなくもっと広く後継者を育てていこうというところで努力しているもので、今後、市としてもいろいろな形で支援していただければと思う。	2	教育委員会	今後、郷土芸能保存団体に対しては、用具の補修や後継者育成活動に対して助成を行ってまいりたい。また、毎年11月に開催している「ふるさと芸能祭」などにおいて、これからも郷土芸能を披露する場を提供してまいりたい。 ※合併協定項目 (47)社会教育事業/9市(町)民文化活動推進事業 現行どおりとする。ただし、郷土芸能については、鹿児島市のふるさと芸能祭の参加団体として取り込むものとする。	1

※新市まちづくり計画  
 2個性創造都市/5文化振興/33ページ

# 第10回（平成18年度第4回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）  
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

会議名	番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
郡山	16	市の郷土芸能振興策はどのようなものがあるのか。また郷土芸能や文化活動など市民レベルの交流活動に対する支援制度を作ってももらえないものか。	2	市民局	町内会等が主体となって行われる文化活動や交流活動に対しては、「みんなで参加 わがまちづくり支援事業補助」を活用していただいている。また18年度からは、「市民とつくる協働のまち事業」で公共的サービスを提供するNPO等の市民活動に対し、経費の一部を助成しているので、活用していただきたい。  郷土芸能振興策については、用具の補修や後継者育成活動に対して、助成を行っているほか、毎年11月に開催している「ふるさと芸能祭」などにおいて、郷土芸能を披露する場を提供している。 文化活動については、市民文化祭等を共催し、共催負担金を交付している。また、本市の文化振興の推進上効果があると認められる行事について、後援するなど、市民文化活動の振興に努めている。	1
			2	教育委員会	※合併協定項目 (47)社会教育事業／9市(町)民文化活動推進事業 現行どおりとする。ただし、郷土芸能については、鹿児島市のふるさと芸能祭の参加団体として取り込むものとする。 (47)社会教育事業／10文化団体との共催事業の推進事業 合併する年度の翌年度に鹿児島市の制度を適用し、統合する。合併する年度は現行どおりとする。  ※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(5)文化振興／33ページ	1

# 第10回(平成18年度第4回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他(質問、所感等を含む)  
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

会議名	番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
郡山	17	商工会に対する市の補助は、会員数に応じて補助額が増減するしくみになっているが、会員数のみでなく、商工会が行う地域活性化の取り組みも助成額に反映されたい。くみに変えていけないものか検討していただきたい。	2	経済局	商工会に対する補助金は、商工会が行う事業に対して補助しているものであり、その額については、会員数のみでなく、事業規模等を考慮して算出している。	1
郡山	18	イギリスで景観対策として街に青色の蛍光灯をつけたら、副産物として犯罪が減ったということで、広島でこれを取り入れたという話を聞いた。郡山にどうか。はないが、天文館辺りで導入してみてはどうか。	2	市民局	青色には、人の心を落ち着かせ心理的に人を冷静にさせる効果があるとされており、日本でも青色の防犯灯、街路灯を設置し、犯罪件数が減少するなど効果をあげているところがございます。しかし、その科学的根拠等は未だ不明でありますので、今後、研究してまいりたいと考えております。	2
			2	建設局	道路照明灯は、道路の照明のためのものであるもので、照度の低い青色蛍光灯を設置することはできないのでご理解いただきたい。	3











平成18年度第5回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
15		<p>原道の歩道部分は、段差が非常に激しく、舗装もでこぼこが多く、自転車で走りづらいことから、県道の舗装部分の改良について県に要請してほしい。</p>			
16		<p>観光桜島の表玄関にある旧さくら荘跡が、このままなら活用されなくなってしまう。観光振興の面から好ましくない。観光振興の面からも、旧さくら荘跡地の活用を検討してほしい。</p>			